

千葉県保健医療計画改定に関する調査 【P】訪問薬剤管理指導対応薬局票（在宅医療）

【提出期限と提出方法】

調査回答期限は**令和5年9月8日（金）**です。期日までに、同封の実施要領に記載した調査専用ホームページから、調査票の電子ファイル（EXCEL）のダウンロードにて取得してご回答いただいた後、回答済みのファイルをアップロード提出して頂きますようお願い致します。

- ※ アップロード提出がうまくいかない場合
→調査事務局のメールアドレス宛に回答済みの調査票（EXCEL）をお送りください。
- ※ セキュリティの関係で上記URLにアクセスできない場合
→紙の調査票に記入の上、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

【調査票ご記入時の注意点】

- ・特に断りのない限り、令和5年8月1日時点の状況をご記入ください。
- ・当該時点の状況を把握されていない場合は、直近の状況をご回答ください。
- ・Excelファイルの表示上、自由回答欄の記載内容が見えなくなっても問題ございません。

（ご担当者様の氏名・連絡先）

施設名称			
氏名		部署名	
電話番号		e-mail	

I. 貴施設の概況について

Q1 貴薬局の機能についてご回答ください。（該当するものを1つ選択してください。）

※本質問にて「対応している」と御回答いただいた項目につきましては、千葉県ホームページで医療機関名と共に公表を予定しています。

	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
24時間調剤の体制	01 自薬局で対応している 02 近隣の保険薬局との連携により対応している 03 対応していない	
無菌調剤（TPN輸液を含む）の調剤体制	01 自薬局で対応している 02 近隣の保険薬局との連携により対応している 03 対応していない	
麻薬（持続注射療法を含む）の調剤体制	01 対応している 02 対応していない	
医療材料及び衛生材料の供給	01 対応している 02 対応していない	
24時間医薬品の相談に対応できる体制	01 すべての患者に提供している 02 調剤を行った患者のみ対応している 03 対応していない	
地域住民への医療機関の紹介	01 対応している 02 対応していない	

Q2 地域連携薬局の認定について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
	01 認定を取得済みである【⇒Q4へ】 02 認定取得を検討している【⇒Q4へ】 03 認定取得を検討していない【⇒Q3へ】	

Q3 《Q2で「03 認定取得を検討していない」を選択された薬局にお伺いします。》

理由について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

	選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 薬剤師の維持・確保が困難		
02 申請書類の作成が煩雑		
03 無菌製剤処理をできる体制が確保できない		
04 認定を取得するメリットが感じられない		
05 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加が難しい		
06 利用者の服薬指導の際に配慮した構造設備を設けることが難しい		
07 医療機器・衛生材料の提供体制の構築が難しい		
08 その他 具体的に（		

Q4 患者の来局日以外の服薬期間中における継続的な服薬指導（電話による状況確認等）の実施状況について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

	選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 自薬局のみで継続的な服薬指導を要する患者を抽出し、実施している		
02 関係機関から依頼があった患者について実施している		
03 患者からの依頼があった場合について実施している		
04 その他 具体的に（		

Q5 オンライン服薬指導の実施状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 映像及び音声を用いて実施している		
02 電話（音声のみ）で実施しており、今後映像にも対応予定		
03 電話（音声のみ）で実施しており、映像への対応予定はない		
04 電話（音声のみ）で実施しており、今後中止する予定		
05 今後実施する予定		
06 実施予定はない		

Q6 直近1ヶ月の間、調剤した患者全体においてお薬手帳（電子版を含む）を持参した患者のおおよその割合をご記入ください。

	延べ患者数		お薬手帳（紙）を持参した患者割合		お薬手帳（電子版）を持参した患者割合
定期来局している患者（かかりつけの患者）		人		%	
定期来局していない患者（かかりつけ以外の患者）		人		%	

Q7 所属している常勤の薬剤師の、薬剤師会への所属状況について該当する番号に○をつけ、加入状況について、ご回答ください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄	加入者	自薬局の常勤薬剤師数
01 地域・職域薬剤師会			
02 千葉県薬剤師会			
03 日本薬剤師会			
04 薬剤師会に所属している薬剤師が事業所にいない			

II. 従事者及び管理者の状況について

Q8 貴薬局の薬剤師数と在宅医療への従事状況について、薬剤師1人当たり回答欄 1行を用いてご回答ください。

番号	勤務形態 (1つを選択)		年代 (1つを選択)					従事時間の割合		
	A 常勤職員	B 非常勤職員	2 0 歳代	3 0 歳代	4 0 歳代	5 0 歳代	6 0 歳代	7 0 歳以上	在宅医療 (準備時間等含む)	薬局の外来業務
	(Bの場合) 常勤換算人数 ※注参照									
1			人						割	割
2			人						割	割
3			人						割	割
4			人						割	割
5			人						割	割
6			人						割	割
7			人						割	割
8			人						割	割
9			人						割	割
10			人						割	割
11			人						割	割
12			人						割	割
13			人						割	割
14			人						割	割
15			人						割	割
16			人						割	割
17			人						割	割
18			人						割	割
19			人						割	割
20			人						割	割
21			人						割	割
22			人						割	割
23			人						割	割
24			人						割	割
25			人						割	割

注1： 非常勤職員数を常勤換算数でご回答いただく設問は、貴薬局の1週間の通常勤務時間を基本として、下記の方法で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した数字をご記入ください。例えば、1週間の通常勤務時間が40時間の薬局で、週3日、各自5時間勤務の非常勤職員の場合、 $5 \text{時間} \times 3 \text{日} \div 40 \text{時間} = 0.375 \Rightarrow 0.4$ 人

注2： 列が足りない（26名以上の薬剤師がいる）場合は、恐れ入りますが、別の白紙に26以降の番号と各項目の該当する回答をご記入の上、同封してご返送ください。例えば、
 26番目の薬剤師が常勤職員、50代、在宅医療5割、外来業務5割：26. A 5 5 5
 27番目の薬剤師が非常勤職員（週3日、5時間勤務）、60代、在宅医療6割、外来業務4割：27. B (0.4人) 6 6 4

Ⅲ. 在宅医療の実施状況について

Ⅲ. 1 訪問状況

Q9 現体制で1か月当たりの在宅医療提供可能な最大の訪問人数と延べ回数をご回答ください。

サービス	1か月当たり 最大の訪問人数	1か月当たり 最大の延べ訪問回数
訪問薬剤管理指導	人程度	延べ 回程度

Q10 医療的ケア児に対する訪問薬剤管理指導の実施状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 実施している【⇒Q11へ】	02 実施していない【⇒Q12へ】

Q11 《Q10で「01 実施している」を選択された薬局にお伺いします。》
 実施するにあたって連携している相手はいますか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。
 （複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 病院	
02 診療所	
03 歯科診療所	
04 他の保険薬局	
05 訪問看護ステーション	
06 居宅介護支援事業所	
07 介護施設（入所施設）	
08 その他在宅介護サービス事業者	
09 患者・家族	
10 その他 具体的に（ ）	

Q12 《Q10で「02 実施していない」を選択された薬局にお伺いします。》
 理由について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 薬剤師の維持・確保が困難	
02 薬局の調剤業務が多忙	
03 調剤にあたり特別な配慮が必要となる	
04 患者のニーズがない（把握できない）	
05 近隣医療機関のニーズがない（把握できない）	
06 その他 具体的に（ ）	

Q13 医療的ケア児の在宅訪問依頼についてお伺いします。該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 医ケア児等の在宅訪問依頼を受けたことがある。 主な依頼元（ ）	
02 医ケア児等の在宅訪問依頼を過去に断ったことがある。 断った理由（ ）	
03 医ケア児等の在宅訪問依頼を受けたことがない。	

Ⅲ. 2 提供先の状況

Q14 貴薬局が訪問可能なエリアにおける移動時間について該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）			回答欄	
平均移動時間	01 15分未満	02 15分以上30分未満	03 30分以上45分未満	
	04 45分以上60分未満	05 60分以上		
最大移動時間	01 15分未満	02 15分以上30分未満	03 30分以上45分未満	
	04 45分以上60分未満	05 60分以上		

Q15 訪問薬剤管理指導を行っている患者の居住形態別に、令和5年3月の1ヶ月間の利用実人数、延べ回数をご記入ください。

	自宅 (戸建て)	自宅 (マンション等)	サービス付き 高齢者向け住宅	有料老人 ホーム
実人数				
延べ回数				
	認知症対応型 共同生活介護	介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム	障害者 グループホーム	その他
実人数				
延べ回数				

Q16 利用者へ訪問を開始するに至ったルートのおおよその割合について、合計10割になるようにご記入ください。

患者・家族からの 依頼	病院からの依頼	診療所からの依頼	訪問看護ステーションからの依頼		
居宅介護支援事業所 からの依頼	行政からの依頼	貴施設からの申し出	その他	計	
				0	

Ⅲ. 3 在宅医療の充足状況について

Q17 貴薬局が開設している地域における在宅医療の充足状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 充足していると思う【⇒Q19へ】	
02 充足していると思わない【⇒Q18へ】	
03 わからない	

Q18 《Q17で「02 充足していると思わない」を選択された薬局にお伺いします。》

充足していないと思われる部分について、該当する選択肢の番号に○をつけてください（複数回答可）

	選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
在宅医療を担う人材	01 医師	
	02 歯科医師	
	03 看護師	
	04 薬剤師	
	05 理学療法士	
	06 作業療法士	
	07 言語聴覚士	
	08 管理栄養士	
	09 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
在宅医療を担う施設	01 病院	
	02 診療所	
	03 歯科診療所	
	04 薬局	
	05 訪問看護ステーション	
	06 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
在宅医療の内容	01 訪問診療	
	02 往診	
	03 訪問歯科診療	
	04 訪問看護	
	05 訪問薬剤管理指導	
	06 訪問栄養管理指導	
	07 訪問リハビリテーション	
	08 看取り対応	
	09 緊急時の患者の入院受入れ	
	10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
在宅医療の連携	01 診療所、病院と他機関との連携	
	02 歯科診療所と他機関との連携	
	03 薬局と他機関との連携	
	04 訪問看護ステーションと他機関との連携	
	05 介護関係者と他機関との連携	
	06 行政と他機関との連携	
	07 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

Ⅲ. 4 終末期・看取りの対応

Q19 貴薬局によるアドバンス・ケア・プランニング（終末期における意思決定支援。愛称：人生会議）（以下「ACP」という。）の取組状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 ACPを知らない、若しくは具体的な内容がわからないため取り組んでいない 02 必要性を感じないため取り組んでいない 03 ニーズがないため取り組んでいない 04 対応可能な人員（組織）体制がないため取り組んでいない 05 可能な範囲で取り組んでいる 06 自薬局の方針として積極的に取り組んでいる 07 ACPについて書面に起こしている 08 その他		
選択肢	具体的な取組内容（自由回答）	
05		
06		
08		

Q20 貴薬局と地域とのACPに関する連携状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 必要性を感じないため連携していない 02 ニーズがないため連携していない 03 可能な範囲で連携している 04 専門の職員を配置し連携している 05 医療・ケアチームとして連携している 06 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Q21 貴薬局と地域とのACPに関する連携について、課題と思われるものに○をつけてください。（複数選択可）

選択肢（該当するもの全てに○）		回答欄
01 ACPに関する知識・技術の習熟		
02 情報共有のツール		
03 関係者間の連絡調整		
04 緊急時の取り決め		
05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Ⅲ. 5 在宅医療現場での労働災害について

Q22 在宅医療現場における職員の被害について、貴薬局の職員が経験されたものについて○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 腰痛などの身体損傷	
02 訪問時の交通事故	
03 在宅医療現場での感染症暴露	
04 室内犬にかまれるなどの動物被害	
05 在宅医療現場での、ハラスメント、暴言・軟禁・暴力行為等 具体的に（ <input type="text"/> ）	
06 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
07 特になし	

Q23 在宅医療現場における職員の危険防止について、貴薬局で取り組んでいるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 人力で抱え上げない・持ち上げないケアなどの身体損傷の防止の取組	
02 スタンダードプリコーションの実施などの感染症暴露の防止の取組	
03 各種労働災害に対応した危険防止マニュアルの作成	
04 労働災害発生時の相談体制（内部・外部）の構築	
05 危険防止に関する研修会への参加又は研修会の実施	
06 ハラスメント、暴力等に対応する職員の配置	
07 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
08 特になし	

Q24 在宅医療現場における職員の危険防止について、千葉県で行うことが望ましいと考えるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 在宅医療現場における職員の危険防止に関する研修会	
02 在宅医療現場における職員の危険防止マニュアル等のひな型の提示	
03 人力で抱え上げない・持ち上げないケアの普及	
04 血液・体液暴露事故が生じたときに初期検査・初期治療をしてくれる病院の確保	
05 ハラスメントに対応した相談窓口の設置	
06 自薬局で実施するハラスメント対策や暴力等に対する防止策への助成	
07 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

IV. 多職種連携

IV. 1 多職種連携におけるDXの推進状況について

Q25 患者の病歴や日々の訪問記録（手書きや電子データ等）等の各種情報を外部の関係者と共有していますか。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 はい【⇒Q26へ】	02 いいえ【⇒Q30へ】	

Q26 《Q25で「01 はい」を選択された薬局にお伺いします。》

訪問記録・情報を誰と共有していますか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）		回答欄
01 病院		
02 診療所		
03 歯科診療所		
04 他の保険薬局		
05 訪問看護ステーション		
06 居宅介護支援事業所		
07 介護施設（入所施設）		
08 その他在宅介護サービス事業者		
09 患者・家族		
10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Q27 外部の関係者との情報共有にあたり、情報通信技術（ICT）を活用していますか。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 はい【⇒Q28へ】	02 いいえ【⇒Q29へ】	03 活用を検討している【⇒Q30へ】

Q28 《Q27で「01 はい」を選択された薬局にお伺いします。》

外部の関係者との情報共有に利用されている情報通信技術（ICT）についてご回答ください。

	選択肢	回答欄
利用頻度（閲覧・登録の頻度） （1つを選択）	01 頻繁に利用している 02 ときどき利用している 03 ほとんど利用していない	
利用しているシステムの種類 （1つを選択）	01 1種類のみ 02 複数のシステムを、目的によって使い分けている 03 同じ目的でも患者や連携先施設によってシステムが異なる	
システムの名称	（ <input type="text"/> ）	
利用目的 （該当するもの全てに○）	01 医療機関の診療記録等（カルテや検査結果等）の共有 02 関係者間の連絡（伝言や写真の共有等） 03 患者のバイタル管理 04 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
導入のきっかけ （該当するもの全てに○）	01 地域（市町村や多職種会議等）で導入を決定したため 02 自薬局で必要性を判断し、連携先に依頼して導入した 03 主治医からの依頼で導入した 04 他施設（主治医除く）からの依頼で導入した 05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

Q29 《Q27で「02 いいえ」を選択された薬局にお伺いします。》

情報通信技術（ICT）を活用しない理由は何ですか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。
（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 システム導入方法がわからない	
02 システムの活用方法がわからない	
03 システム導入の予算がない	
04 紙のほうが管理しやすい	
05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

IV.2 他機関・多職種連携の状況

Q30 地域の多職種との連携の促進に向け、貴薬局が現在行っている又は貴施設が協力している取組について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 連携窓口の一覧の作成	
02 入退院支援のルール作り	
03 入退院時のカンファレンスの実施	
04 個別のケース会議の実施	
05 ICTを活用した患者情報の共有	
06 地域の多職種による研修の実施	
07 連携のための地域リーダーの育成	
08 緊急時の入院受入体制の構築	
09 病院勤務医の理解と協力の促進	
10 在宅医療に関する各機関の認識の共有や理解の促進	
11 財政支援によるインセンティブの付与	
12 D to P with N（患者が看護師等といる場合のオンライン診療）の活用	
13 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

Q31 多職種連携の促進に向けて、貴薬局が現在、連携を図っている職種について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 病院医師・看護師	
02 診療所医師	
03 歯科医師	
04 歯科衛生士	
05 病院薬剤師	
06 他施設の薬剤師	
07 看護職員（訪問看護ステーション等）	
08 リハビリ専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）	
09 ケアマネジャー	
10 介護施設（入所施設）の職員	
11 地域包括支援センターの職員	
12 医療ソーシャルワーカー（MSW）	
13在宅医療・介護連携支援センターの職員	
14 在宅医療支援拠点の職員	
15 その他在宅介護サービス事業所の職員	
16 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

IV. 3 薬薬連携の推進		
Q32	在宅医療を提供する患者が入院する際、薬剤情報を入院先の医療機関の薬剤師に提供できていますか。	
	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
	01 できている 02 概ねできている 03 あまりできていない 04 できていない	
Q33	退院患者に対して在宅医療を提供するに当たり、貴薬局は退院時カンファレンスへ参加していますか。	
	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
	01 参加するケースが多い 02 ケースによって参加している 03 参加していない 04 退院時カンファレンスの開催を把握していない	
Q34	退院患者に対して在宅医療を提供するに当たり、入院中の薬剤情報を把握できていますか。	
	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
	01 できている 02 概ねできている 03 あまりできていない 04 できていない	
Q35	近隣の医療機関に勤務する薬剤師と日ごろから連携を図っていますか。	
	選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
	01 できている【⇒Q36へ】 02 概ねできている【⇒Q36へ】 03 あまりできていない【⇒Q37へ】 04 できていない【⇒Q37へ】	
Q36	《Q35で「01 できている」もしくは「02 概ねできている」を選択された薬局にお伺いします。》 行っている取組について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）	
	選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
	01 継続的な薬物療法実施に向けた体制作り	
	02 個別カンファレンスの実施	
	03 合同研修会・勉強会の実施	
	04 人材育成に向けた病院・薬局間での職員の派遣研修	
	05 住民への啓発活動	
	06 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

V. 災害時の対応

Q37 在宅医療を提供している患者が避難所（福祉避難所）に避難した場合、避難先における医療の提供について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 避難先に訪問し、医療の提供が可能	
02 避難先が自施設から近い場合、訪問して医療の提供が可能	
03 電話やオンラインにより、医療の提供が可能	
04 対応できない	

Q38 業務継続計画（BCP）の策定状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 策定済み【⇒Q40へ】	
02 今後策定する予定【⇒Q39へ】 具体的な時期（ <input type="text"/> ）	
03 策定していない【⇒Q39へ】	

Q39 《Q38で「03 策定していない」を選択された薬局にお伺いします。》

業務継続計画（BCP）を策定していない理由は何ですか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 業務継続計画（BCP）の策定方法がわからない【⇒Q41へ】	
02 他の関係機関と共同しないと策定できない【⇒Q41へ】	
03 策定する必要性を感じない【⇒Q41へ】	
04 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）【⇒Q41へ】	

Q40 《Q38で「01 策定済み」もしくは「02 今後策定する予定」を選択された薬局にお伺いします。》

災害時における医療機関や訪問介護事業所等の関係機関や自治体との連携について、BCPへ記載していますか。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 記載している	
02 記載していない	

Q41 在宅医療を提供する患者に対する災害時の医療に係る地域の備えとして、必要だと思う対応について、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。

選択肢（該当するもの3つまでに○）	回答欄
01 緊急避難先となる医療機関・入所施設の確保	
02 緊急避難先となる医療機関・入所施設への発電機の設置	
03 緊急避難先となる医療機関・入所施設の業務継続の確保	
04 患者・家族に貸出可能な非常用電源の準備	
05 患者・家族による非常用電源の確保	
06 患者宅への水・食糧支援	
07 市町村が作成する避難行動要支援者名簿への掲載	
08 患者の個別避難計画の策定	
09 在宅医療に特化した相談窓口の設置	
10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

VI. 課題・今後の方針について

Q42 今後の在宅医療への貴薬局の取組方針について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。	
選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 拡充を検討している【⇒Q43・Q45へ】	
02 現状の体制を維持する【⇒Q45へ】	
03 縮小を検討している【⇒Q43へ】	
04 訪問薬剤管理指導の提供をやめる予定【⇒Q44へ】	
Q43 《Q42で「01 拡充を検討している」、「03 縮小を検討している」を選択された薬局にお伺いします。》拡充（縮小）の具体的方法について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）	
選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 薬剤師の増（減）員	
02 その他職員の増（減）員 具体的に（ <input type="text"/> ）	
03 対応エリアの拡大（縮小）	
04 提供する医療の拡充（縮小） 具体的に（ <input type="text"/> ）	
05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
Q44 《Q42で「03 縮小を検討している」、「04 訪問薬剤管理指導の提供をやめる予定」を選択された薬局にお伺いします。》在宅医療の提供を縮小・廃止する理由について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）	
選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 薬剤師の維持・確保が困難	
02 薬局の外来業務が多忙	
03 遠方の患者の増加による訪問業務の負担増	
04 患者のニーズがない（把握できない）	
05 近隣医療機関のニーズがない（把握できない）	
06 採算が取れないため	
07 その他	
その他の具体的な内容、上記回答の補足等（自由記載）	
<input type="text"/>	

Q45 在宅医療を提供する上での課題について、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。

選択肢（該当するもの3つまでに○）	回答欄
01 24時間対応体制の維持	
02 人口減少や競合施設増多による減収での廃業	
03 薬剤師の確保	
04 長距離訪問時の助成	
05 家族の介護力	
06 患者の経済的負担の軽減	
07 在宅医療に関する取組・研修機会の確保	
08 在宅介護サービスの充実	
09 在宅医療現場における職員の危険防止対策の充実	
10 多職種連携のための環境の整備	
11 在宅療養患者に関する医療機関との情報共有として、退院時カンファレンスの実施	
12 在宅療養患者に対する医療機関との連携として、連携シート等、連携ソールの活用	
13 在宅医療（訪問薬剤管理指導）に関する医療機関の認識や理解	
14 在宅医療を提供する医療機関間の連携体制の構築	
15 在宅療養患者に関する歯科診療所との情報共有	
16 在宅療養患者に関する居宅サービス事業所との情報共有	
17 連携する医療機関の確保	
18 連携する訪問看護ステーションの確保	
19 継続的な薬物療法に関する医療機関の認識や理解	
20 介護分野の事業所との情報共有	
21 災害時の継続的なサービスの提供	
22 災害後早期の通常医療体制への復旧	
23 災害後早期の患者の通常生活への復帰	
24 在宅患者訪問薬剤管理指導に係る医療機関に対する報告	
25 患者への「訪問薬剤管理指導同意書」の交付	
26 医療機関からの「訪問薬剤管理指導依頼書・情報提供書」の交付	
27 薬学的管理指導計画書の作成	
28 在宅医療に関する県の取組情報の見える化	
29 在宅医療に関する診療報酬の引き上げ	
30 地域住民へ医療機能分化や在宅医療への理解を促進するための情報提供	
31 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
32 特になし	

在宅医療に関するご意見等ございましたら以下にご記入ください。

設問はここで終了です。ご協力ありがとうございました。